

「地域ならではの商品づくりとは」

11/26 Thursday 木曜日

1日目 10:00 ~ 18:30
会場：和歌山県立情報交流センターBig.u

(集合9時45分)
研修室4
ネットワーク実習室

10:00~10:10 開塾式
開塾挨拶、講師紹介、ガイダンス
出口講師 (和歌山大学観光学部教授)

10:10~10:50 塾長講演
「地域ならではの商品が選ばれる理由」
塾長講演：山田桂一郎 塾長
観光を手段とした地域振興を進めるためには、地域ならではの商品をつくる必要があります。皆さんが今回エントリーした企画は、本当に地域を支える商品につながっていますか？この講演では、地域ならではの商品とはどのようなものであり、どのような役割を果たすのか、そして、どのような点を意識してつくり出さなければならないのかについて解説します。

11:00~12:00 企画発表
各5分程度で、塾生の事業発表
エントリーの際にグループ単位で提出した事業案を各5分で発表いただき講師が講評するとともに午後に向けた課題を提示します。
山田塾長、出口講師、竹林講師、此松講師、榎垣講師、森講師、永山講師、森重講師

Big.u 屋外広場で昼食：青空弁当

13:00~14:00 講師講評
講師講評・トークセッション・論点整理
山田塾長、出口講師、竹林講師、此松講師、榎垣講師、森講師、永山講師、森重講師
講師陣がエントリー企画を題材に講評をトークセッション形式にて整理し課題を提示します。塾生は聴きながら、配布されるワークシートを活用して講評意見交換で得た知恵を整理することに現時点での企画案を記載してもらいます。企画の目的だけでなく、その先にあるビジョンも整理します。

《塾生エントリーシート発表を受けて講評を含めての講演》

14:10~15:10 講師講演
「デジタルマーケティングの目的と課題」
Googleマイビジネス プラチナプロダクトエキスパート、Google広告プロダクトエキスパート 永山卓也講師
現状と現状が好転することを持っているだけで良いのでしょうか。デジタルマーケティングは小規模観光事業者であっても低コストで実現可能であり、極めて有効な施策でもあります。この講演では、デジタルマーケティングを実施する目的と実施にあたっての課題についてわかりやすく解説します。

15:20~16:20 講師講演
「稼げる事業をどのように設計するか」
株式会社南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長 森重良太講師
地域ならではの素材を活用した商品開発をすることはとても重要ですが、同時にコスト意識を持ちつつ収益性の高い商品にしていけることも重要です。稼げる事業をどのように設計し、持続可能なものにしていくかについて一緒に考えていきましょう。

16:30~17:10 塾長講演
「地域を支える商品づくりとは何か？」
塾長講演：山田桂一郎 塾長
皆さんが今回エントリーした企画は、果たして本当に地域を支える商品につながっていますか？いま一度、地域を支える商品づくりとは何かについて解説します。

17:30~18:00 オンライン分科会
分科会「虎の穴」ブレイクアウトルームへようこそ
山田塾長、出口講師、竹林講師、此松講師、榎垣講師、森講師、永山講師、森重講師
虎穴に入らば虎を獲す！翌日の企画改善案の発表につなげるべく、zoomブレイクアウトルームでの意見交換に臨みます。エントリーシート・個人ワークシート持参で参加してください。今回は専任講師の参加を介したグループセッションをしますので、各自事前に登録メールに書く招待コードより参加してください。

11/27 Friday 金曜日

2日目 10:00 ~ 17:00
会場：和歌山県立情報交流センターBig.u

(集合9時45分)
研修室4
ネットワーク実習室

10:00~10:40 塾長講演
「ターゲットは明確か？事業磨き上げのポイント」
塾長講演：山田桂一郎 塾長
選ばれる商品をつくるためには、どのような顧客に選ばれるのかを明確に定めることが必須です。ここでは、いま一度ターゲットを明確にすることの重要性を確認します。

10:40~11:25 講師講演
「マーケットを捉える仕組みから見える今後の展望」
じゃらんリサーチセンター(JRC)研究員/気仙沼市復興アドバイザー 気仙沼の事例 森成人講師
～顧客データベースを地域でシェアする仕組み～ニーズの汲み取りで得られる消費者の動向から次の一手が打ちやすくなります。無駄を省いた効率的な経営には情報を正しく得ることが重要です。気仙沼クルーカード導入の目的と課題とは、地域カードを活用した取り組みから紹介します。

11:30~12:15 講師講演
「着地型観光で選ばれる戦略とは？」
一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長 和歌山大学観光学部・大学院観光学研究科観光教育研究アドバイザー 南紀熊野の事例 多田稔子講師
田辺市熊野ツーリズムビューローでの取り組みを事例に、選ばれる価値についてお話します。世界遺産認定後に観光地化が進んだ当地で地味住民の意識が変わったか。主な顧客を欲求に絞った経緯と成果をお話します。コロナ禍の対応でどのようなことが課題となったか、現在の取り組み状況をお話します。

Big.u 屋外広場で昼食：青空弁当

13:20~14:20 トークセッション
トークセッション「現状認識とマーケティングの重要性を知る」
山田塾長、出口講師、竹林講師、此松講師、多田講師、森講師、永山講師
選ばれる商品づくりのためには持続的な品質改善が必要です。地方で持続的な品質改善はコストと価格の兼ね合い、取引業者の見直し、ターゲット顧客の変更などのシレンマをもちます。こうした課題・課題を講師陣がどのように考え対応しているのかをセッション形式で討議します。

14:20~15:00 論点整理
ローカルカフェ・各自の企画事業への落とし込み
山田塾長、出口講師、竹林講師、此松講師、多田講師、森講師、永山講師
エントリーシート修正作業、事業のブラッシュアップを行います。講師も各テーブルを回し回り、アドバイスします。配布されたワークシートを活用し、新たに獲得したアイデア等を活用して事業の修正作業、仕事の整理(タブリ、濡れ)、ビジョンとの整合性などの確認をします。

15:10~15:50 企画改善点発表
企画改善点の発表 学びの共有、全員と講師による意見交換
グループ毎に企画改善点を各2分程度発表し、受講者全員と講師の意見交換を行います。
山田塾長、出口講師、竹林講師、此松講師、多田講師、森講師、永山講師

16:00~16:40 塾長講演
「持続可能な地域を実現するために」
塾長講演：山田桂一郎 塾長
持続可能な地域を実現するには、エゴと利害を乗り越え、地域内経済循環を活かさせることで地域に必要な産業を支え、地域愛を持った次世代を育成することが重要です。皆さんが提示した企画はこうした取り組みに寄与するものにするために、あらためてその本質について一緒に考えましょう。

16:50~17:00 閉塾式
閉塾式
全ての講義を修了した塾生へ修了証書を授与します。

「南紀熊野観光塾」塾長挨拶＜塾の目的＞

今年で8期目を迎える南紀熊野観光塾は、「選ばれる地域」をモットーに、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。「選ばれる地域」では、住民が誇りをもって幸福に、そして楽しく暮らしています。では、どのような地域をめざせば住民も訪れる人も幸せを感じるようになるのでしょうか。南紀熊野観光塾では、それを本質から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々と一緒に学びと意見交換をしていきたくと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、生涯にわたり一緒に活動することができる同志を見つける場としても大いに活用してください。



南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎 (やまだけいいちろう)

「南紀熊野観光塾」塾長紹介

塾長 山田 桂一郎 JTIC.SWISS 代表、日本エコツーリズム協会理事、観光カリスマ 和歌山大学 南紀熊野サテライト客員教授

塾長プロフィール

2005年に観光カリスマ(内閣府・国土交通省「観光庁」・農林水産省認定)。「世界のトップレベルの観光/ノウハウを各地に広めるカリスマ」として、これまでの欧州を中心とした環境保全(環境保護・保全活動プログラム、環境教育、環境アセスメント等。海外在住者として初めて日本の環境省に登録された環境カウンセラー)と世界各地における滞在プログラム・ツアーの実施と観光・集客交流の事業化、マーケティング、ブランディングの経験を活かし、観光・地域振興(まちおこし・自立型地域振興、人材育成、中心市街地・商店街活性化、一次産業支援等)に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。また、地域振興のコンサルタントとして多方面で様々な事業化(特に地域経営マネージメントの組織化)を進め、多くの実質的な成果と結果を残す。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一員として選出された。民間企業やNPO法人の他にも、多くの省庁や地方自治体の委員、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザーを務め、大学や高等教育機関でも教鞭をとっている。欧州では、ヨーロッパ・アルプス並びにスイス全土に渡る取材・撮影のコーディネーター、ライター(日本旅行作家協会会員)、ビデオカメラマン、通訳としても活動。冬は、現地で唯一の日本人スキー教師、夏は、ハイキング、トレッキングガイドでもある。スポーツに関しては、山以外でもセーリング(ヨット)競技の元国体選手であり、パラグライダーでも空も飛ぶ。陸海空の全てをフィールドとしている。

主な著書：「観光立国の正体」新潮新書(藤谷浩介氏との共著)、「知られざる日本の地域力」今出版(川川龍氏との共著)、「しなやかな日本列島のつくりかた」新潮文庫(藤谷浩介氏との対談本)

「南紀熊野観光塾」講師紹介

講師：出口 竜也 和歌山大学 観光学部 観光学科 教授



【出口竜也(でぐち たつや)】和歌山大学 観光学部 観光学科 教授
1964年石川県金沢市生まれ。1987年富山大学経済学部卒業。1991年神戸大学(現在兵庫県立大学)大学院経営学専攻修士課程修了。2000年和歌山大学経済学部専任講師に就任。同大学助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光学科教授に就任。2008年より現職。専門は経営戦略論、経営戦略論、観光経営論。近年は、人間的アプローチによる経営学や産業集積研究に高い関心を持っている。また、観光産業振興センター(SIARC)理事、いき交流文化デザイン研究所理事、日本うどん学会評議員など、幅広い分野で貢献を積み、学際的な活動を進めている。
(著書)「日本の経営の本流-松下幸之助の理想と戦略(共著、PHP研究所1997年)」、「ケーススタディ現場主義の海外経営(共著、白桃書房1997年)」、「社員の経営人類学(共著、東方出版1999年)」、「経営学への旅立ち(共著、八千代出版2001年)」、「企業博物館の経営人類学(共著、東方出版2003年)」、「ケースブック・ビジネスモデルシンキング(共著、文芸堂2007年)」、「経営戦略の基礎(共著、東京経済情報出版2007年)」、「社会文化のグローバル化(共著、東方出版2007年)」、「新グローバル経営論(共著、白桃書房2007年)」、「経営理念-継承と伝播の経営人類学的研究(共著、PHP研究所2008年)」など。

講師：竹林 浩志 和歌山大学 観光学部 観光学科 准教授



【竹林浩志(たけがやし ひろし)】和歌山大学 観光学部 観光学科 准教授
1970年大阪府生まれ。1995年関西大学商学部卒業。2000年関西大学大学院経済学研究科博士課程後期課程を単位取得後退学し、大阪府立大学(現大阪経済大学)観光学部専任講師に就任。同大学助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光学部教授に就任。2008年より現職。専門は観光戦略論、経営戦略論、リーダーシップ論。近年は、観光地運営における戦略主体の移行や組織的凝集力などを中心とした経営学的研究に高い関心を持っている。また、観光庁「観光地づくり人材育成ガイドライン検討会」委員も務めた。
(著書)「現代のチーム制-理論と役割-」(共編著、同文館、2003年)、トライブ「観光経営戦略-戦略策定から実行まで-」(共訳書、センゲージラーニング、2007年)、「ホーソン実験の研究-人間尊厳の経営の源流を探る-」(共著、同文館、2008年)、「観光入門-観光の仕事・学習・研究をつなぐ-」(共著、新曜社、2011年)など。

講師：此松 昌彦 和歌山大学 教育学部 教授 和歌山大学 南紀熊野サテライト代表



【此松昌彦(このまつまさひこ)】和歌山大学 教育学部 教授
1963年東京都生まれ。1987年東海大学海洋学部卒業。1996年大阪府立大学大学院教育学研究科博士課程を単位取得後退学し、和歌山大学教育学部専任講師に就任。2008年より現職。2010年より和歌山大学防災教育センター長を併任。専門は地質学・古環境学・防災教育、和歌山県では新世代の地質、特に第四紀の古環境について研究している。学校や地域での防災教育プログラムを開発している。最近では南紀熊野ジオパーク推進協議会の学術専門委員として、南紀熊野ジオパークをサポートしている。南紀熊野から地域資源を生かしたジオツアーやジオ商品の開発に関心を持っている。

講師：榎垣 敏氏 26日のみ

観光庁 観光地域振興部 観光地域振興部広域連携推進室長 (兼) 観光地づくり法人支援室長

広島県広島市出身(現福山市) 1991年株式会社リクルートに入社。じゃらん、じゃらんリサーチセンターで観光による地域活性化に携わる。2014年から滋賀県大津市観光振興部の観光プロデューサーとして出向。2016年「地域の誇りを取り戻したい」という理念のもと、地域経営をサポートする株式会社LOCAL ROOTSを創業。和歌山県有田市観光産業推進アドバイザー(2017~2019年)等を経て、2019年7月より現職。



講師：森 成人氏 両日

森 成人(もり なるひと) じゃらんリサーチセンター(JRC)研究員 気仙沼市復興アドバイザー (一社) 気仙沼地域戦略 理事

1999年入社。新報事業開発の仕事を経て、2013年4月より経済同友会の被災地支援プロジェクトにて被災地気仙沼市へ出向。被災地の復興のため、地元人材育成や観光振興、6次産業化など現地の仮設住宅に住みながら地域活性化に携わる。2017年4月からは気仙沼市に設立するDMO法人「一社」気仙沼地域戦略の理事、気仙沼市復興アドバイザーも勤める。また2018年12月より観光庁専門派遣事業に専門家として登録。



講師：永山 卓也氏 両日

Googleマイビジネス プラチナプロダクトエキスパート Googleマップ、Google広告プロダクトエキスパート

デジタルとアナログを複合的に使った幅広いマーケティングでコンサルティングや店舗マネジメント業を行う。観光を中心に宿泊、飲食、小売に豊富な経験を持ち、地域団体、企業等セミナー、講演実績多数。国内初のGoogleマイビジネス プラチナプロダクトエキスパート、Googleマップ、Google広告プロダクトエキスパート。



講師：多田 稔子氏 27日午後のみ

一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長 和歌山大学観光学部・大学院観光学研究科観光教育研究アドバイザー

和歌山県生まれ。和歌山大学教育学部卒業。2005年~2009年、田辺観光協会会長として活動。2006年5月、田辺市内5つの観光協会を組織する「田辺市熊野ツーリズムビューロー」会長に就任。2010年5月、法人格を取得し一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューローが設立。代表理事となり、会長に就任する。本業の株式会社双葉商会(ビルメンテナンスや人材派遣業を営む)では、取締役副社長として経営参画する。その他主な公職、田辺市議会常務議員、和歌山県観光協会委員、和歌山大学観光学部・大学院観光学研究科観光教育研究アドバイザーボードなど。



講師：森重 良太氏 26日のみ

森重 良太(もりしげりょうた) 株式会社 南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長

株式会社南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長 2006年からNECで戦略スタッフとして戦略立案、事業再生・M&A等を経験した。2013年より経営共創基盤(ICPI)で経営プロフェッショナルとして様々な事業戦略案件や全国の空港民営化および地方創生プロジェクトに携わる。2018年より南紀白浜エアポートでエアライン誘致、地域連携・旅行事業を統括。観光・ビジネス両面から誘客の仕組み化と地域の活性化に取り組む。紀伊半島地域連携DMO 事務局長 兼 マーケティング・財務最高責任者



会場参加は事前にエントリーした受講者のみ参加可能です。新型コロナウイルス感染防止対策のため、今期の夜なべ談話や室内での昼食交流会は実施しません。昼食は、館内の中庭や屋上芝生等でお召し上がりください。館内レストラン等の混雑を避けるために事前にお弁当等は運営側で用意しています。(お弁当引き換えチケットを配布しますので昼食時に事務局受付にて交換してください)

応募要項 ※募集人数と費用

塾生募集は8組20名迄募集します。

(応募者が多数の場合は選考となります。ご了承ください。)

- ①募集対象：観光塾の修了生が含まれる複数人のチーム。個人も可。
講師・塾生から紹介された方で、全てのカリキュラムに参加が可能であること。
- ②教材費用、昼食代、飲食費用等、実費5,000円程度をご準備願います。
(昼食前の混雑を避けるため、2日分の昼食弁当費用が含まれています)
施設内飲食は致しませんので昼食は館内の屋上芝生や中庭でお願いします。
※感染防止対策のため今期は、夜なべ談義、昼食交流会は実施しません。
- ③前日、当日に発熱のある方、体調が悪い方は参加をお控えください。
会場では、検温とマスク着用等の感染対策にご協力いただきます。
- ④状況により記載の内容は変更することもあります。予めご了承ください。
- ⑤大学生で参加をご希望の方は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- ⑥塾生講習と基礎講習の両日参加を希望する方は事務局にお知らせください。
(基礎講習の会場参加は南紀熊野地域在住の方限定ですが、塾生講習参加の方は会場参加を一部受け入れております。)

受講に関してのご案内

※グループセッション等はオンライン上で実施します。

※新型コロナウイルス感染防止対策のために、受講生とのセッションや分科会はオンライン上のzoomブレイクアウト機能を利用して実施します。
26日はタブレットやパソコン端末を各自持参ください。
ビッグユーでの貸出パソコンもありますので、接続に不安のある方は事務局に事前にご相談ください。(パソコン貸出には身分証が必要です)

令和2年度 南紀熊野観光塾【塾生講習】参加申込用紙

申込方法

- (1)「専用申込用紙」、(2)「エントリー用紙」の計2枚を
締切日までに、以下のメールまたはFAX、郵便でお送りください。
応募者多数の場合はチーム優先。(昨年度に延期となった7期塾生講習の申請者の優先枠があります)
用紙は、県立情報交流センタービッグ・ユー内南紀熊野サテライトにて配布。
また、HPからダウンロードして頂けます。 www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/

和歌山大学 南紀熊野サテライト 南紀熊野観光塾

検索



募集締切：専用申込用紙&エントリーシート

令和2年11月20日(金) 17:00締切(必着)

※記載の内容は変更することもあります。予めご了承ください。

お問い合わせ先

和歌山大学南紀熊野サテライト

TEL: 0739-23-3977 FAX: 0739-23-3978

メール: nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

開室時間: 10:00~17:00 (日・月・祝祭日等休み)

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9

和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー内 102号室

会場アクセス (和歌山大学南紀熊野サテライト所在地)

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9

和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー内

■公共交通利用：JR紀勢本線 白浜駅

大阪方面から新大阪より約2時間30分

■自動車利用：阪和自動車道

田辺ICより、国道42号線方面

または上富田ICより国道42号線方面

■専用駐車場有



南紀熊野サテライトHP

地域と共生の学び

南紀熊野サテライトは、地域課題に対応した地域連携・貢献を推進するため、和歌山大学全体の知的資源を活かして、南紀熊野における地域連携・貢献に関わる教育と研究、及び地域づくりの人材と地域課題に対応した事業に参画するための拠点です。



NANKI-KUMANO-KANKOJUKU

南紀熊野観光塾 vol.8

～いま、求められる観光中核人材を考える。次世代の地域経営～



南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎

地域ならではの商品のつくり方とは

第8期生 募集【塾生講習】8組20名

「南紀熊野観光塾」とは、「選ばれ続ける地域」をモットーに、南紀熊野のあるべき姿をみながら考える塾です。魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。人々が地域の魅力に気づき、誇りを持って幸福に暮らすことができれば、おのずとそこには観光客がやって来ます。では、どのような地域になれば人々は幸福になれるのでしょうか。この塾では、それを根本から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々の間でじっくりと議論していきたいと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、同志を見つける場として大いに活用してください！

11/26 Thursday 木曜日
11/27 Friday 金曜日

開催日	塾生講習 令和2年 11月26日(木) 10:00~18:00 11月27日(金) 10:00~17:00
申込締切日	令和2年11月20日(金) 17:00
参加条件	全ての講習に参加する意欲の有る方 修了生が含まれる複数人のチーム 高校生以上の方(学歴等不問)

※お申し込みはグループ単位でお願いします。個人も可。講師・塾生から紹介された方。

会場 和歌山県立情報交流センターBig.U
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9 研修室4
ネットワーク実習室

※次の方々にお勧めの塾です。

観光業従事者	観光振興の担い手	地方公共団体	ジオパーク担当者
若手起業家	観光案内者	まちづくり担当者	旅館経営者
商工関係者	インストラクター	地域づくり担当者	ガイド、語り部
			観光に関心のある大学生・高校生

主催：和歌山大学南紀熊野サテライト 共催：和歌山大学観光学部、株式会社南紀白浜エアポート
後援：和歌山県、一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー